

simc News Letter

Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)～6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)～6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門 セミファイナル第3日目 演奏レポート (2019年6月23日)

山田治生 (音楽評論家)



34 ケリー・タリム (アメリカ)

バルトーク ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112
ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所
R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

ケリー・タリムはアメリカからの参加。バルトークの協奏曲第2番を弾いた。艶のある音色が魅力的。柔らかなヴィブラートで、伸びやかに大きく歌う。技巧的にも優れている。ただし、音程の精度には改善の余地があった。バルトークのこの協奏曲を、どちらかというロマンティックに描いてように聴こえた。

続いて、コンサートマスター席でブラームスの交響曲第1番第2楽章終結部とR.シュトラウスの「ツァラトゥストラはかく語りき」から舞踊の歌を演奏。ブラームスのソロをよく通る音で奏でる。ただ、ヴァイオリンの独奏曲を弾いているようにも思われた。彼女のよく鳴るヴァイオリンとロマンティックな音はシュトラウスの音楽に合っている。座って弾くときの姿勢には安定感があった。



24 アンドレア・オビス (イタリア)

プロコフィエフ ヴァイオリン協奏曲 第1番 ニ長調 op.19
ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所
R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

イタリア出身のAndrea・オビスは2017年のミュンヘン国際音楽コンクールで第2位に入賞している。プロコフィエフの協奏曲第1番を選択。ピアノシモと記された第1楽章冒頭、オビスはそれにふさわしい弱音で歌い、抑制された美を披露した。一方、強音の表現力も素晴らしく、ダイナミックスの幅が広い。また、オーケストラとは、アイコンタクトも用いて、積極的にコミュニケーションをとり、一緒に音楽を作っていく。第2楽章ではノリの良さも示す。全体を通して、音楽が起伏に富み、比較的短いこの協奏曲で一つのドラマを聴き終えた充実感があった。ただし、もう少し音程の精度の高める余地のある個所もあった。

コンサートマスター席で弾いたブラームスは、力むことのない、自然体の演奏。オーケストラの後ろの奏者も意識して弾いている。「ツァラトゥストラはかく語りき」では、音に一層の華やかさや豊潤さがほしくなった。

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第7回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選からガラコンサートまでの全演奏のライブ配信を行います。また、演奏日の翌日から9月30日(月)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。 simc.jp/7th_competition/

♪最新情報はFacebook、twitterから!!

仙台国際音楽コンクール公式Facebook、twitterでも最新情報を配信しております。

Facebook: @SendaiInternationalMusicCompetition
twitter : @sendai_simc



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <https://simc.jp>



36 友滝 真由 (日本)

プロコフィエフ ヴァイオリン協奏曲 第1番 ニ長調 op.19
 ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所
 R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

ベルリン芸術大学で学ぶ友滝真由は、プロコフィエフの協奏曲第1番を弾いた。第1楽章冒頭から、作品にふさわしい澄んだ音で、丁寧に奏でる。ボウイングが巧みでピッツィカートの鳴らし方もよい。第1楽章や第3楽章の重音の難所を美しく演奏。ただし、強い音の音楽では、もう少し積極性や起伏がほしいと感じられるところもあった。音の美しさや音程の精度に優れ、プロコフィエフのこの協奏曲の魅力を引き出していた。

コンサートマスター席でのブラームスの交響曲第1番第2楽章終結部は、ソロスティックに弾かなくても、十分に音は届く。「ツァラトゥストラはかく語りき」のソロも、誇張することなく、すっきりと弾いてみせた。それはそれで一つの見識である。



22 イリアス・ダビッド・モンカド (ドイツ)

バルトーク ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112
 ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調 op.68 から 第2楽章 の指定箇所
 R.シュトラウス 交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」 op.30 の指定箇所

セミファイナリストの中で最も若い、2000年生まれのイリアス・ダビッド・モンカドはドイツ出身。2016年の若いヴァイオリニストのためのルイ・シュポーア国際コンクールで第2位に入賞している。バルトークの協奏曲第2番を演奏。冒頭から濃厚な語り口。大きなヴィブラートを使い、よく歌う。楽器の鳴りもよい。脇を締めた弾き方。長い手の動きが巧み。積極的で、音楽に推進力があるのは素晴らしいが、もう少しオーケストラへの配慮がほしいと思われるところもあった。すごく良いところと少し雑なところがどちらもあったのは若さゆえか。

ブラームスとシュトラウスでは、コンサートマスター席で弾くのに慣れないのか、生彩が感じられなかった。

今回初めての試みであったコンサートマスターとしての演奏は、いろいろな発見があり、有意義であったが、同時に、聴き手が何を求めるのか(例えば、ソロの美しさなのか、オーケストラのリーダーとしての働きなのか)によって評価が大きく変わると思われた。

第7回コンクール チケット情報

ー プレイガイドー

仙台国際音楽コンクール
 公式サイト、
 日立システムズホール仙台、
 仙台銀行ホール イズミティ21
 ローソンチケット、
 チケットぴあ、仙台三越

※詳細は公式サイト
<https://simc.jp>を
 ご覧ください。

	ヴァイオリン部門	座席	料金	友の会料金
予選	6/15 (土) 販売終了	全席自由 日時指定	1,000円	1,000円
	6/16 (日) 販売終了			
	6/17 (月) 販売終了			
セミファイナル	6/21 (金) 販売終了	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円	S席 2,700円 A席 1,800円
	6/22 (土) 販売終了			
	6/23 (日) 販売終了			
ファイナル	6/27 (木) 18:30～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円	S席 2,700円 A席 1,800円
	6/28 (金) 18:30～			
	6/29 (土) 完売～			
入賞者記念 ガラコンサート	6/30 (日) 完売～	全席指定	S席 4,000円 A席 3,000円	S席 3,600円 A席 2,700円
審査委員による マスタークラス聴講券	6/24 (月) 11:00～	全席自由 日時指定	一般 1,000円 学生 500円	一般 900円 学生 500円
	6/25 (火) 11:00～			



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp